

<グリーンイノベーション>

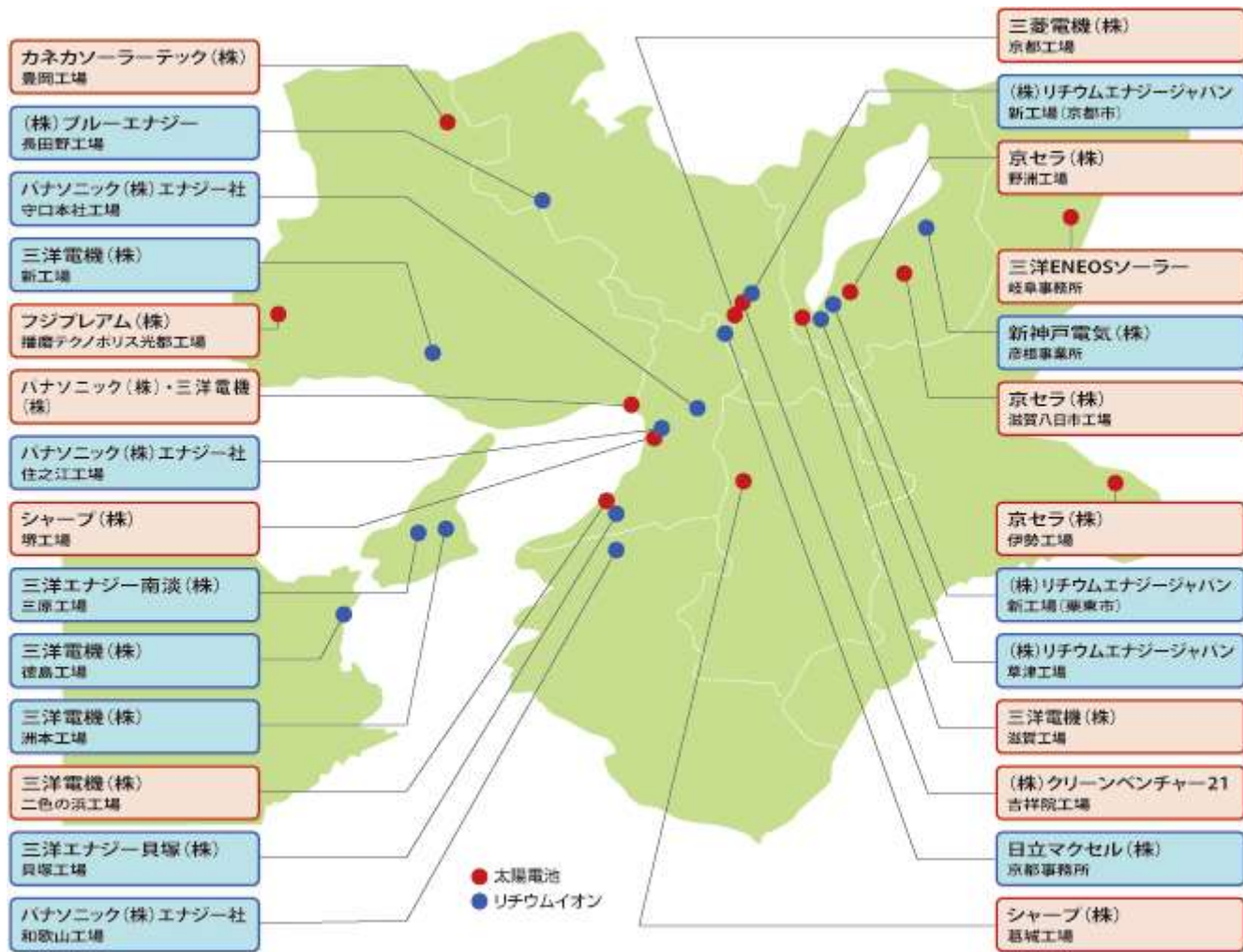
成長分野と期待される電池関連産業の生産拠点

・関西地域は、電池関連産業の国内有数の生産拠点であり、国内でも高いシェアを誇る。
 ・世界的に環境・エネルギー関連への投資は活況で、特に注目されているのがリチウムイオン等電池関連と、太陽光発電等の新エネルギー関連産業であり、成長産業として世界的に市場規模の拡大が予想される中、環境・エネルギー産業を担う関連企業が、大阪・関西圏、特に大阪湾岸を中心に集積している。

関西地域のリチウムイオン電池、太陽電池の生産量と国内シェアの推移



「バッテリーベイ」マップ



ライフ・グリーン関係のナショナルプロジェクトが進行中

・産業クラスターの集積を基盤として、先端産業と目されるライフ・グリーン関係のナショナルプロジェクトが進行している。

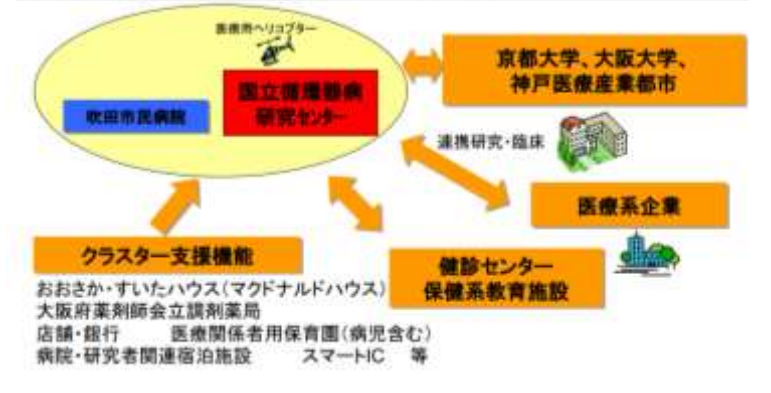
<府下関連の主なプロジェクト例>

【北大阪地域におけるバイオ・医療クラスターの形成】

・彩都ライフサイエンスパークではバイオ・医薬・食品・コスメ・ヘルスケア等をはじめとする様々なライフサイエンス分野の研究・技術開発機能等を持つ施設並びにこれらに付随する関連施設の拠点を形成。
 ・吹田操車場跡地地区では、国立循環器病研究センター等移転に伴い、オープンイノベーションによる最先端医療・医療技術開発、オープンイノベーションと連動したエリアの産業活性化による国際級の複合医療産業拠点(医療クラスター)を形成に向け取り組みを推進。

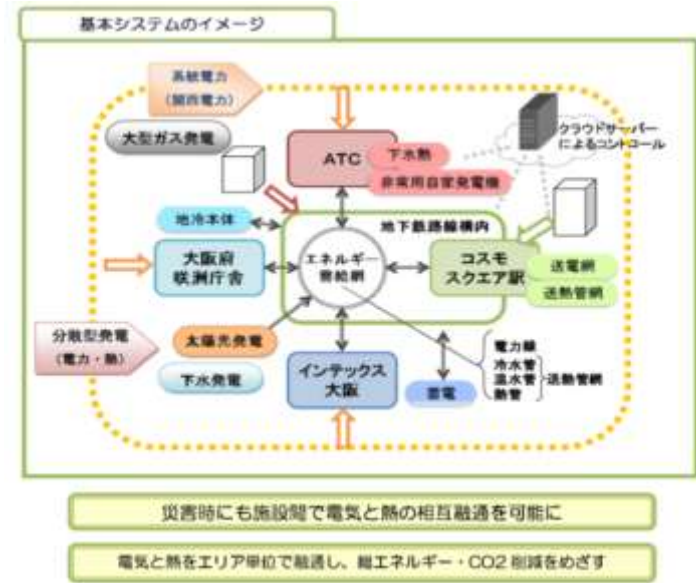


○大阪大学・京都大学・国立循環器病研究センターの3大拠点と直結、全国の医師・研究者の参画により、最先端医療を展開
 ○関西イノベーション国際戦略総合特区(北大阪地区)の活用
 ○医療イノベーション5か年戦略の一翼を担える推進拠点の整備



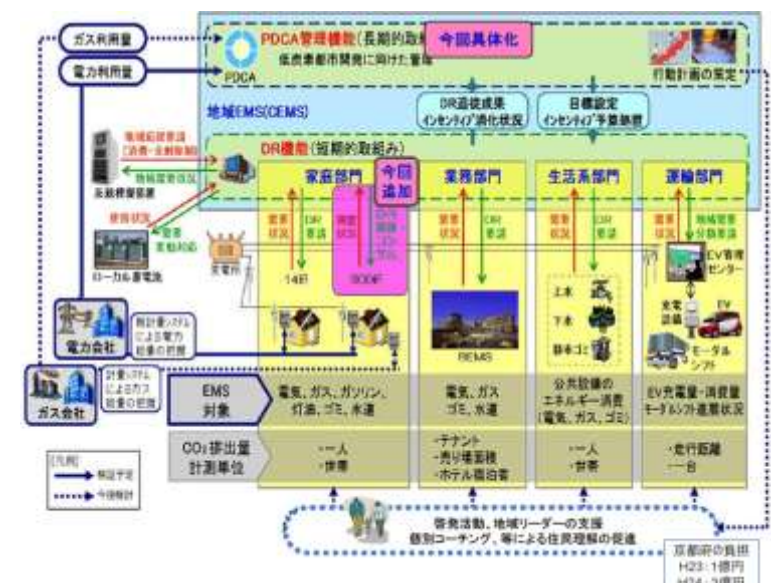
【咲洲地区スマートコミュニティ実証事業】

・大阪市では、大阪・関西に環境・エネルギー産業が集積する強みを活かし、家庭やオフィスにおけるエネルギーの面的利用とITによる制御技術、介護ロボットの導入など医療・介護・健康分野での最先端技術の導入を検討しており、大阪ベイエリアの咲洲地区において、環境先進都市の未来が体感できるコミュニティ構築を図るための実証事業に取り組む。



【けいはんなエコシティ次世代エネルギー・社会システム実証プロジェクト(けいはんな学研都市)】

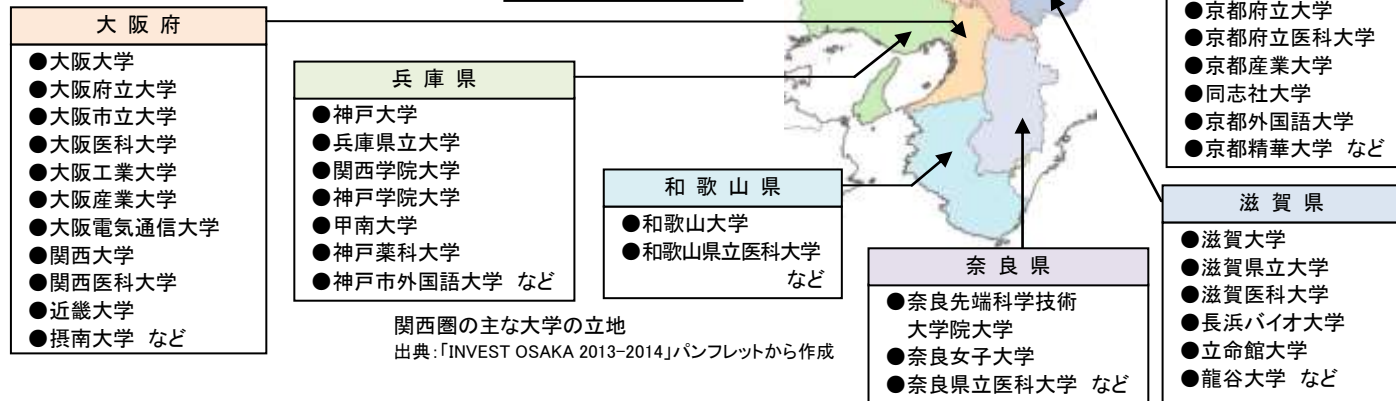
・日本型スマートグリッドを含めた次世代エネルギー・社会システム実現のための実証地域の一つとして、「けいはんな」で実施。電力使用量の「見える化」やデマンドレスポンス、HEMSを活用した機器別のエネルギー消費量計測と省エネ、省CO2エネルギーマネジメントの実施等に取り組む。



6. 関西圏の大学の分布状況

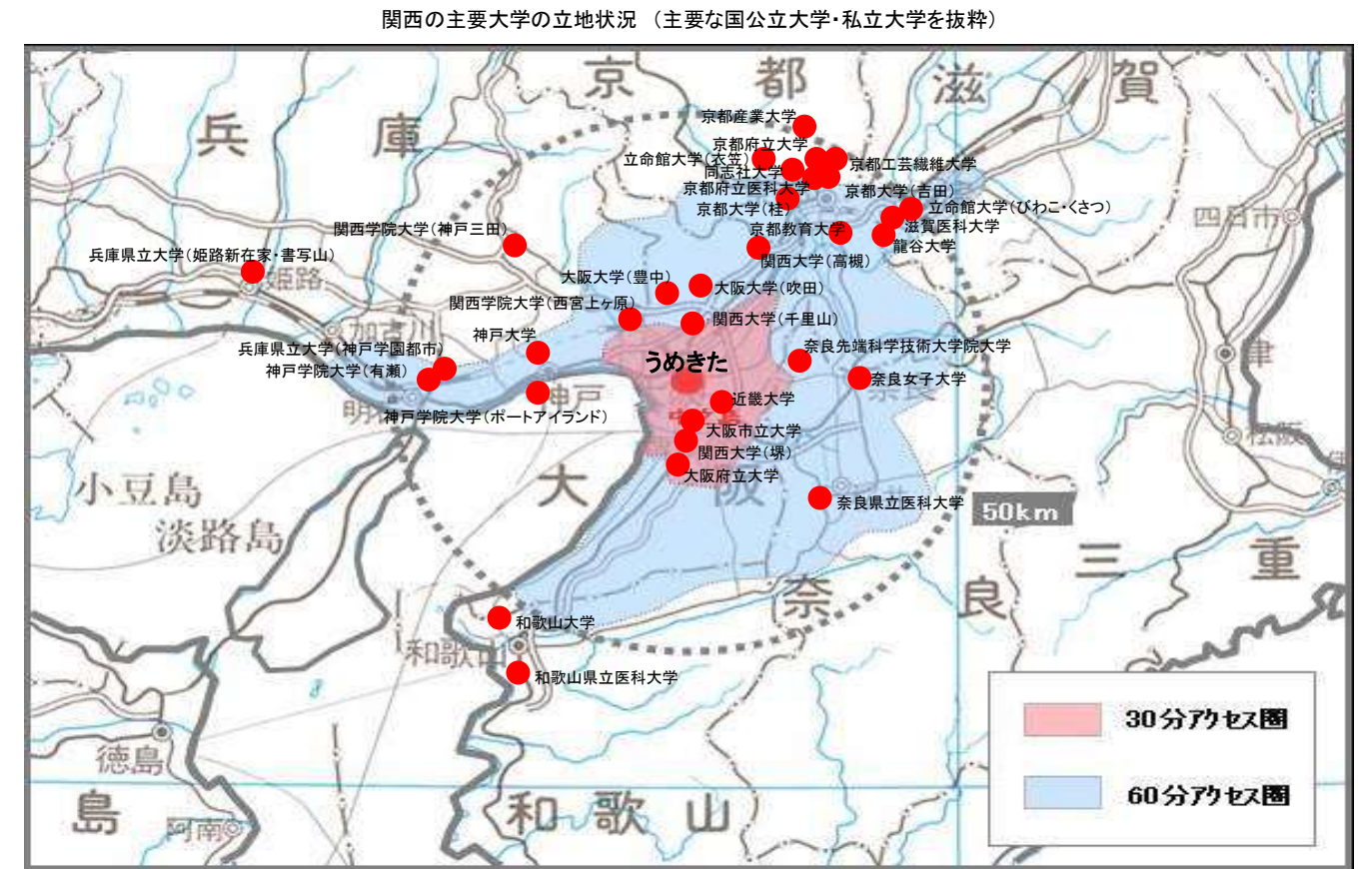
各都市に優れた大学機関が集積

・大阪をはじめとして関西圏の各都市に国内トップクラスの大学が数多く立地する。



50km 圏内に主要な大学が密度高く集積

・関西圏の主要な大学は、うめきたから概ね 50km 圏内、60 分アクセス圏に集積しており、交通網により結ばれている。



東京 23 区に次いで京都市、神戸市に大学等が集積

・国内では、東京 23 区での大学等の立地が突出している。
・関西は京都市、神戸市の立地が多い。大阪市は工場等制限法の影響から市外への流出が続いた。
・大阪市・京都市・神戸市の3つを合計した規模では東京 23 区に次ぐ規模になる。

都市別大学・大学院数と学生数(平成 25 年度、学校数計 10 以上の都市を抜粋)

都市名	学校数計			学生数計
	国立	公立	市立	
札幌市	14	2	2	10
仙台市	10	2	1	8
東京(23区)	95	7	1	87
横浜市	13	1	1	11
名古屋市	17	2	2	13
大阪市	11	1	1	10
京都市	26	3	3	20
神戸市	20	1	3	16
広島市	12	1	2	10
福岡市	11	1	1	9
全国	782	86	90	606

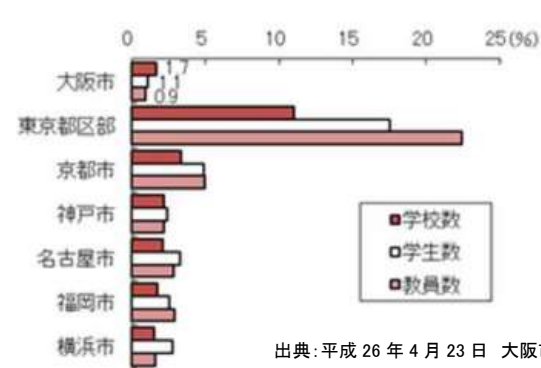
出典:学校統計調査(文部科学省)

注) 1.「学校数」については、大学本部の所在地による。
2.「学生数」については、在籍する学部・研究科等の所在地による。なお、学生数には学部学生のほか、大学院、専攻科及び別科の学生並びに科目等履修生等を含む。

市内の大学、学生の集積は他都市と差

・工場等立地制限法(1964~2002)により、大阪市内から郊外への大学の流出が続く、サテライトについては梅田周辺に立地するものの、大学数や学生数は他都市に比べて極めて少ない。

大学・短大の全国シェア他都市比較(2013 年度)



近年はキャンパス型大学の都心回帰が相次ぐ

・鉄道駅に近接した立地の良い場所に、キャンパス型大学が相次いで移転する動きが見られる。
・一方、大阪市内には、キャンパス型大学の立地に適した、概ね 1ha 以上の(複数の)鉄道駅に近い交通至便な土地が少ない。

☆本部機能が立地する大学(11校)

開設年	大学名	学部・学科・研究科名
1 1880	大阪市立大学	商、経済、法、文、理、工、医(医、看護)、生活科学
2 1932	大阪経済大学	経済、経営、経営情報、人間科学
3 1940	大阪工業大学	知的財産、工
4 1958	相愛大学	音楽、人文学、人間発達
5 1999	常磐会学園大学	国際コミュニケーション
6 2003	大阪成蹊大学	現代経営情報
7 2004	大阪女学院大学・短期大学	国際英語学部、英語科
8 2006	大阪総合保育大学	保育系単科大学
9 2007	森ノ宮医療大学	保健医療(理学療法、鍼灸、看護(2011.4~))
10 2009	大阪保健医療大学	保健医療(理学療法、作業療法)
11 2011	大阪滋慶医療科学大学院大学	大学院(医療安全管理学専攻)

大阪市調べ(平成 26 年 6 月)

(交通至便な場所への移転 近畿圏の事例)

- ・立命館大学 茨木 約 99,000 m² <H27 年予定>
- ・関西大学 JR 高槻 約 17,000 m² 小中高併設 <H22 年>
- ・関西大学 南海浅香山 約 28,000 m² 人間健康学部 <H22 年>
- ・同志社大学 今出川 約 7,700 m² <H24 年>

都心部にサテライトキャンパスが集積

・大阪駅前に多数のサテライトキャンパスが集積。その他、中ノ島、天王寺駅前、その他都心業務地を中心に立地。
・知的財産や経営学を学ぶビジネス分野の研究科や、市民向け講座、学生のキャリア支援などを行う大学院が多い。
・関東や海外の大学のサテライトキャンパスも見られるが、主として関西の大学の拠点が多い。

主要なサテライトキャンパス(何らかの教育活動を行っているところ)

大学名	大学名
1 放送大学大阪学習センター	16 同志社大学サテライトキャンパス
2 高知工科大学大学院サテライトキャンパス	17 大阪商業大学サテライトキャンパス
3 大阪産業大学梅田サテライト	18 LEC東京リーガルマインド大学
4 関西学院大学梅田K.G.ハブスクエア大阪	19 テンプル大学ジャパンキャンパス大阪センター
5 チェスター大学大阪事務局	20 関西福祉科学大学サテライト教室
6 大阪府立大学なんばサテライト教室	21 デジタルハリウッド大学院
7 英国国立ウェールズ大学経営大学院	22 大阪経済大学北浜キャンパス
8 関西大学天六キャンパス	23 大阪教育大学大学院サテライトキャンパス
9 大阪市立大学大学院	24 グロービス経営大学院大阪校
10 立命館大阪キャンパス	25 桃山学院大学サテライトキャンパス
11 宝塚大学大阪・梅田キャンパス	26 常翔学園大阪センター
12 関西大学中之島センター	27 名古屋商科大学ビジネススクール
13 大阪大学中之島センター	28 慶應大阪シティキャンパス
14 大学グループ連合大学院サテライトキャンパス	29 芦屋大学大阪キャンパス
15 奈良女子大学大学院サテライトキャンパス	30 京都造形芸術大学大阪サテライトキャンパス

大阪市調べ(平成 26 年 6 月)

サテライトキャンパスの立地状況

